

地域懇談会の開催概要

地 区	中央地域A
開 催 日 時	令和7（2025）年11月6日（木）午後6時30分～8時13分
開 催 場 所	枇杷島コミュニティセンター
参 集 人 数	42人
市 側 出 席 者	市長、総務課長、課長代理、主査、広聴専門員

1 市長の施政方針の補足・追加説明

【市長】

「柏崎市第六次総合計画案」等について説明しました。

2 地域からのテーマ

※事前に提出されたテーマについて市長が回答

（1）学校の統廃合について

【説明者】

生徒数の減少に伴う学校統廃合は理解していますが、地域に学校がなくなると衰退に拍車が掛かります。以前の小規模特認校の検討の結果について確認させてください。小さな学校の吸収だけでなく、山間の集落や地域の行事の継承を守るため、特認校などで見直しをお願いします。今的方法では限界集落が発生してしまうため、柏崎市でしかできない地域と共生する小規模校や自然の中に存在する中規模校づくりを検討してください。新しい校舎の第五中学校と東中学校、さらに北条中学校も東中学校に統合される事案に対し、自然豊かな鯖石地域での情操教育を考えると「もったいない」と感じます。私自身が、保育園・小学校・中学校がなくなった経験をしており、地域がなくなると寂しく感じます。

【市長】

小規模特認校については、現在、北条小学校での実施について検討を進めています。約20年前の上米山小学校の統合の際に、小規模特認校に関わり、送迎の負担や特徴づけなどの理由で、ほとんど機能しなかった経験があります。北条小学校は公共交通もあり、初めは小規模特認校の自然環境への期待はありますが、後に勉強や英語への希望があることから、決定はしていませんが検討しています。第五中学校の校舎は7年ほどですが、全校生徒が20人で、1学年6、7人と少なく、子ども達のことを考えて東中学校との統合を決めました。統合後の校

舎は、教育センターとして、不登校や学校で馴染めない生徒の学びの場としての活用を議会も含めて相談しています。

(2) 「違反・不法投棄ごみの実態調査と抑止・対応の強化策提言」

【説明者】

町内のごみステーションでの違反ごみ、また町内に 15 個のごみ箱にある不法投棄ごみが日々の大きな悩みです。市のごみ分別ガイドに全ての品目が掲載されておらず、特に新たな転入者が理解するのは難しいため提案します。市の公式LINE にある市への通報で、環境課に通報できる仕組みを作ってください。また、監視カメラの設置を検討しましたが、対象者の対応を町内で行うのは現実的ではないため設置は考えていません。そのため、抑止力として、希望する町内にのぼり旗を設置する提案です。さらに、他の町内会では、違反ごみがあった場合にコンパネに違反理由を書くとのことです、その作業も大変です。同じく抑止力や理解を示す意味があることから、防災出前講座のように、希望する町内で説明会の実施をお願いします。監視カメラの設置までは考えませんが、設置の補助金の予算について確認させてください。

資源ごみや可燃ごみの出し方にルール違反が多く、違反ごみが出ます。違反ごみの違反内容について、町内だよりで周知していますが、うつかりミスが多く、役員が対応しています。他の自治体では記名式のごみ袋を使うところもありますが、法律的な問題があると聞いています。記名式ごみ袋の導入ができるか、また法律的な注意点について教えてください。また、町内会の集会所で大きなごみは引き取れないですが、今後、引き取りが可能となるか検討をお願いします。

【市長】

防犯カメラについて、現時点では町内会への補助金はありませんが意見を含めて検討させてください。その場合の設置場所は、集会施設となる可能性があり、ごみ集積場には難しいと考えますが確認をさせてください。市の公式LINE で不法投棄の通報メニューを追加する提案は、現在の通報機能の活用を含めて検討させてください。出前講座については、ごみの出し方の意識の高い方でなく、誤った意識の方が課題ですので、のぼり旗との併用案も検討し、実現可能性を検討させてください。記名式ごみ袋については、プライバシーの問題もありますが、不法投棄を減らすための抑止力として検討させてください。集会所でのごみ収集については、町内によって状況が異なりますが、個人宅や駐車場、神社の片隅などに集積場を設置している場所があります。集会所での収集についても、町内事情を考慮して検討させてください。

3 自由懇談

「ごみの課題を抑止するための強化策について」「外国人住民の受け入れについて」「「資源物・ごみの分別ガイドブック」の更新について」「「あいくる」と市街地循環バスについて」「道路の点検について」「地元同意の言葉について」について懇談しました。